

英語演習C①

岡村 光浩

リテラシー〈語学〉 講義 2～4年次 前期 2単位 ※予備登録実施、履修上の注意

履修上の注意

2年次以上対象。「総合英語」の履修後に受講することが望ましい。授業は半期完結だが、前期①はテキストの奇数ユニット、後期②は偶数ユニットを使用する予定。

授業目的・方針、到達目標

時事英語を学ぶ。英字新聞から選り抜かれた世界のニュースを読む。テキストの難易度は本学の英語科目で最も高い。新聞英語の約束事（日本語の新聞の読み方にも通じる）についても学びつつ、まとまった英文の内容を的確に把握する練習を徹底的に行う。リーディング中心となるがリスニングもある。「英字新聞を読みたかったら日本語の新聞を読め」をモットーに、折々のニュースや、テキストに関連した資料も積極的に紹介していくので、英語力だけでなく時事問題への意識も鍛えてもらいたい。出席は毎回取る。できる限り毎回全員に何か答えさせるので、そのつもりで準備のこと。

授業内容

- 1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他）
- 2：Unit 1 Sleepy Wyoming town morphs into English-teaching hub
- 3：Unit 3 Wakata to become first Japanese to spend 3 months in space
- 4：Unit 5 Note to parents: Teaching manners is part of raising a healthy child
- 5：Unit 7 Arab women find a job, and freedom, at 35,000 feet
- 6：Unit 9 China court takes aim at vigilantism on Internet
- 7：Unit 11 Darwin and Darwinism
- 8：前半のまとめ
- 9：Unit 13 Japan rules baseball world again
- 10：Unit 15 Ethnic tensions threaten fragile Bosnia pact
- 11：Unit 17 Inner-city students in N.Y. learn Japanese as their third language
- 12：Unit 19 A youth subculture thrives in Argentina
- 13：Unit 21 Three Physicists Share Nobel Prize
- 14：Unit 23 Demise of the French café, and a way of life
- 15：まとめ

準備学習

中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。

評価方法

出席状況（重視）・平常点（宿題・予習状況・受講姿勢）・小テスト／提出課題・定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ニュースメディアの英語 ―演習と解説2010年度版― 』

高橋優身ほか 朝日出版社 2010年

参考テキスト

『総合英語Forest』第6版 石黒昭博監修 桐原書店 2009年（図書館指定図書コーナーにあり）、ほか別途指示する。

各自準備物

辞書（書籍版中辞典を推奨）：学研『アンカーコズミカ英和』、大修館『ジーニアス英和』、三省堂『ウィズダム英和・和英』等

その他

1. テキストを十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。
2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。
3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は担当講師より指示する。